



百年の絆 華やかに節目祝う



記念式典は、中学校・高校のコーラス・ハーモニ一部の校歌斉唱で厳かに幕を開けました。最初に森眞太郎理事長が式辞を述べた後、林芳正文部科学大臣(代読：文部科学省 高等教育局 私学部参事官 井上睦子様)をはじめ、来賓の方々から祝辞を頂きました。田辺聖子文学館の評議員で直木賞作家の林真理子さんからのお祝いメッセージも紹介しました。続いて特別記念演奏として、日比浩一氏(本学客員教授)らによる弦楽四重奏を披露しました。曲目はクラシックからビートルズ、Jポップまで幅広く、重厚で伸びやかな音色に感動の拍手が沸き起こりました。また、三代にわたって在学された同窓生をお招きし、表彰

式を行いました。参加した34組96人に森理事長から感謝の意を込めて、表彰状とともに、学園の校歌を優美に奏でる特製オルゴールを贈りました。式典後の祝宴では、東大阪市の野田義和市長、京都市芸術大学名誉教授で田辺聖子文学館の中西進館長に祝辞を頂いたほか、田辺聖子文学館評議員で芥川賞作家の宮本輝さん、小川洋子さんからのお祝いメッセージを紹介しました。日頃からお世話になっている企業の方々や卒業生、旧職員らが懐かしい思い出話に花を咲かせたり、新たなつながりが生まれたり会場は終始、明るい笑顔が溢れていました。

祝宴に続いて開催した祝賀会は、現在の学園を支える教職員と保護者の方々が立食形式で歓談。和やかな雰囲気にも包まれました。全国、世界レベルで活躍する中学校・高校のダンス部、新体操部、バントワリング部、ボンボンチア部、大阪樟蔭女子大学の新体操部の生徒、学生らが華麗な演技を披露し、会場に華を添えました。創立100年の節目を迎え、記念式典、祝宴、祝賀会を盛大に開くことができましたこと、心より感謝を申し上げます。学園は次の100年を見据え、未来に向かって歩み出しています。

①	②	⑤	⑬	⑮
		⑥	⑦	⑭
	③	④	⑧	⑯
				⑰
				⑱
				⑲
				⑳
				㉑
				㉒
				㉓
				㉔
				㉕

⑨	⑩	⑪	⑫	⑭	⑮
		⑬			

〈記念式典・祝宴〉①三世代表彰②リーガロイヤルホテル大阪「光琳の間」③司会は卒業生でフリーアナウンサーの戸田順子さん④受付の様子⑤名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターの日比浩一氏による弦楽四重奏⑥北尾学長による謝辞⑦⑧ロビーの様子⑨会場の様子⑩姉妹校である台湾・曙光女子高級中学校校長から贈り物を受け取る楠野校長⑪同窓会 杉田会長による乾杯⑫⑬⑭⑮会場の様子

〈祝賀会〉⑯稲田先生(中高教頭補佐)による司会⑰会場の様子⑱中高ボンボンチア部による演技⑲中高ダンス部による演技⑳㉑中高新体操部による演技㉒中高バントワリング部による演技㉓学園保護者会 井上会長による乾杯





堂々とした演技を披露 創立100周年記念映像に出演

- さん 樟蔭中学校3年
- ■ ■ ■さん 樟蔭高校1年
- ▲▲▲▲さん 大学 ライフプランニング学科4年

創立100周年を迎え、学園の軌跡を描いた記念映像「夢は無窮の大空へ」を制作しました。学園を代表して、大学ライフプランニング学科4年の▲▲▲▲さん、高校1年の■ ■ ■ ■さん、中学3年の●●●●さんが「女優」として出演しています。普段、テレビドラマを制作しているプロの撮影陣も驚くほど、堂々とした演技を披露しました。

WingBEAT!
～はばたくSHOIN GIRL～

●●●●●●さん
撮影は今までに感じたことのない緊張感がありました。特に難しかったのは笑顔です。自分ではうまくできたと思っていても、あまり笑っていなかったり、不自然になってしまっ。でも、とてもいい経験になりました。撮影中、先輩たちともすぐに仲良くなり、3人ともバレエ経験者だと分かって会話が弾みました。撮影を通して、改めて学園の歴史や伝統に触れ、樟蔭生であることを誇りに思っています。

ボンボンチア部に所属。最近は食べ歩きにはまっています。高校は児童教育コースに進み、将来は保育士、幼稚園教諭になりたいと思っています。

● ■ ■ ■ ■ ■さん
全てが初めての経験でした。制服を着て樟蔭館で撮影したほか、バスケットボールのシーン撮影もあったので、事前にフォームの確認に時間をかけました。自分の映像を見るのは正直、照れますが、先生から「映像を見たよ」と声を掛けていただき、うれしかったです。先生とも距離が近く、アットホームな雰囲気は樟蔭の良さだと思います。学園が100歳になった年に樟蔭生でいられたことはとても幸せです。

軽音楽部でギター、ボーカルを担当。クラシックバレエも続けています。学園で一番好きな場所はレトロな雰囲気が漂う記念館。

● ▲ ▲ ▲ ▲ ▲さん
事前に歴史を紹介する台詞は声に出して暗記しました。表情や姿勢は新体操がとても役立ちました。プロのカメラマンやメイクさんと一緒にするのは初めてでしたが、プチ女優体験ができて楽しかったです。「樟蔭らしさ」は1人ひとりが輝き、目標に向かって頑張っている姿だと思います。大学では学業とスポーツ(新体操とAGG)の両方とも全力で取り組んできたので、私なりの感謝の気持ちを込め樟蔭らしさを表現したいと撮影に臨みました。

新体操部に所属。AGGにも力を入れていて、大学卒業後も続けるつもりです。好きな教科は英語。マイブームはランニングと半身浴。

制作会社よりコメント

社会の流れに合わせ、また一歩先をリードする想いのもと、100年の歴史が紡がれてきた樟蔭学園。この映像は、学園を知らない人にも興味を持ってもらえるよう、学園の歴史を象徴する建物や場所を背景に、現在の生徒・学生がミステリーハンターのような役割で登場します。教職員・卒業生の皆様には、「樟蔭らしさ」を感じ、樟蔭をもっと好きになってもらえたらうれしいです。

撮影当日は、多くのスタッフに囲まれる中、生徒・学生の皆さんには堂々とした演技、しっかりとした台詞まわしで、抜群の演技をして頂きました。周囲との関係を保ち、自分らしさを忘れない姿勢を見て、またひとつ樟蔭の魅力に気づかされたような気がします。

樟蔭学園の歩んできた100年 「樟蔭らしさ」を伝える



100周年限定ペーパーバッグ

現存する最も古い建物である樟古館、学園のシンボリックな存在の記念館、2014年に完成した翔空館を配したデザインです。側面には学校ごとに創立からこれまでの卒業生と現在の在籍生を加えた総数を記しています。

このグッズは、樟蔭学園創立100周年を記念して作成され、「100周年限定ペーパーバッグ」「オリジナルスプーン&フォークセット」、小冊子「百年の系譜えをとめものかたり」「女子教育の、その先を考える」の4点を、100周年記念式典・祝宴・祝賀会にご出席頂いた皆様にお贈りしました。ご希望の方に4点を1セットにして合計50名様(応募多数の場合)は抽選にプレゼントします。応募方法は下欄をご覧ください。



オリジナルスプーン&フォークセット

卒業生にとって一番思い出深い「校章」が輝くステンレス製のスプーン&フォークセットです。表面は樟の文字を立体的に浮かび上がらせ、裏面は菊水の模様を施しました。スイーツが食べやすいようにカーブを調整した、こだわりの一品です。

樟蔭学園創立100周年 記念グッズ紹介

50名様に プレゼント

「百年の系譜えをとめものかたり」

100年にわたり輩出した卒業生、教職員は約10万人。その中から7名の女性にスポットをあて、大正・昭和・戦後にかけて活躍されたその軌跡をたどります。
【田辺聖子、公文禎子、福田みどり、土井信子、伊藤和子ほか2名(敬称略・順不同)】
「樟(楠木正成)の余芳の蔭を偲ぶ」と名付けられ、「お久の方の教育」を鑑にした樟蔭学園。ほとんどが故人で、資料も少ない状況でしたが、樟蔭の一面を伝えられる一冊に仕上がりました。

「女子教育の、その先を考える」

樟蔭学園100年の歩みを振り返り、これからの学園のあり方を見つめます。あらゆる時代のなか、樟蔭学園が貫いてきたもの、めざしてきたもの、これからは変わらないものを16ページにまとめています。

プレゼント 応募方法

- 応募資格:在校生、卒業生、現・旧教職員(お一人様上記01~04を1セット)
- 応募方法:官製はかき、「樟蔭学園創立100周年記念グッズ プレゼント希望」と記載のうえ、住所/氏名/電話番号/最終卒業校・学科コース・卒業年を記入し、右記住所までお送りください。
- 応募締切:3月20日(火) 消印有効
- 当選者の発表は5月上旬頃、発送をもって代えさせていただきます。

送付・問合せ先

学校法人樟蔭学園100周年記念事業本部
〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26
TEL:06-6723-8152

三世代にわたって樟蔭学園で学ばれたご家族の皆様には、「オルゴール」と「表彰状」をお贈りしました。

オルゴール (樟蔭校歌フルバージョン)

天面に「記念館」がレーザー加工で施された、クリスタル製のオルゴール。国内最高級の50弁のオルゴール(サンキョー製「オルフェウス」)は、長年愛され続けてきた校歌を繊細で優美に奏でます。



表彰状

証書の用紙は、中高の卒業証書と同じ越前和紙を使用しており、校章と「樟蔭学園」(篆刻書体)の透かしをいれました。飾り枠は、手書きで桜をモチーフに描かれ、華やか且つ上品に仕上げました。樟蔭オリジナルの表彰状です。

